

(3) 形競技について

- ①本大会は形審判員による、形の新たな得点制システムを採用いたします。
・各審判員の技術点・競技点それぞれの点数5.0～10.0の間で採点。
- ②参加人数により、グループ数を決定します。1グループあたりの人数は、6～12人。
- ③一人ずつ演武します。
- ④各グループの上位4人が次のラウンドに進出します。
- ⑤ROUND1は第1指定形、ROUND2は第2指定形、ROUND3は得意形、準決勝、メダルマッチは得意形とし、各ROUND演武する形が連続しなければ、同じ形を使っても良い。~~また、同点による再演武についても同様とする。~~

訂正

追記

ROUND1でROUND2への進出を巡って同点（再演武）の場合は、第1指定形での再演武により進出者を決定する。なお、その場合、ROUND1で使用した形と同様でも構わない。

ROUND2でROUND3への進出を巡って同点（再演武）の場合は、第2指定形での再演武により進出者を決定する。なお、その場合、ROUND2で使用した形と同様でも構わない。

ROUND3以降次のラウンドへの進出を巡って同点（再試合）の場合は、そのROUNDで使用した形と同様でも構わない。

ROUNDごとの形については、要項通り、演武する形が連続しなければ同じ形を使っても良いが、「同点による再演武についても同様とする」という文言については、参加対象年齢上、難しいと考え、上記のように訂正する。